

◇日時:2025年2月11日(火・祝) 9時~15時

◇場所 : 島根県立松江商業高校(島根県松江市)

◇指導者:(敬称略)

【中国審判委員会女子部会】田中よしこ、森近和代、米村真由美

【島根県サッカー協会審判委員会】吉野敦博、布野克仁

『元気に楽しく!』

『審判博士になろう!』

9時~12時 講義
12時~13時 お昼休み
13時~15時 実技 フラッグテクニック・
オフサイドの判定



中国地域審判トレセン女子部



◇島根県女子トレセンのテーマ:【競技規則を楽しく学ぼう! 特にオフサイド】

【会議室で競技規則を学ぼう!】

普段、選手としてサッカーに関わっていますが、今日は、試合の時に同じフィールドにいる審判員の目線でサッカーを体験しました。まずは、競技規則をクイズ形式にして答えてもらいました。積極的に参加してくれたので、楽しく学べて盛り上がりました。オフサイドの映像も見ながらディフレクションと意図的なプレーなども学びました。理解度がとても高かったです。



【グラウンドは雪があるので、体育館で審判実践!】

☆みんなで笛を吹いて、旗を振って、シグナルの確認をしました。



☆オフサイド check は、判断したものをその場のモニターですぐにチェックできました。

ボールを蹴った瞬間にオフサイドポジションかどうかの見極めを体験しました。

自分が判定したタイミングとモニターに映っている《差》を感じました。

何本か行っているうちに少しコツを掴めたかな！？



【まとめ】会議室でひと言ずつ感想を聞きました。



オフサイドの判断は、実際行ってみて、オフサイドラインの真横でボールを蹴る瞬間どうか！を判定する難しさ、大切さを感じてくれました。『選手や、監督たちの異議に心が折れませんか？どう対応しますか？』という質問を受けたとき、とても審判に向き合ってくれているんだと感じて嬉しくなりました。松江商業の選手監督は常にリスペクト・感謝の気持ちを大切にしているということも感じました。またフィールドで逢う日が楽しみです。

【トレセンに参加しての感想】

島根県代表 布野 克仁さん

2月11日、松江市で松江商業女子サッカー部の10名の対象に女子審判トレセンを中国サッカー協会の女性審判インストラクターの米村さん、森近さん、田中さんに対応いただきました。

午前の座学は米村さんから、審判に関する基礎知識から、オフサイド、再開方法のレアケースまで、競技者として知っておいた方がよい内容を、パワーポイントを使いながら、言葉のキャッチボール(サッカーなのでパス交換?)しながら行われました。

午後の実技は、森近さん、田中さんも加わり、まずは主審としての笛の吹き方、その後は副審のフラッグテクニックを教わりました。その後、笛の音でタッチジャッジがオフサイドかファウルなのかを、クイズ形式で行いました。更に、副審として実際にオフサイドの判定をし、その様子をiPadで撮影し、その場で20型のモニターで確認しました。受講者はオフサイド判定の難しさを体験するとともに、正確な判定をするコツを習得しました。

今回のトレセンは受講者が終始、真剣に学ぶ中にも笑顔の絶えないトレセンとなりました。このような講習環境を作ってくださった、中国サッカー協会の女性審判インストラクターの皆さんには感謝しかありません。また何より、受講者が目を輝かせ受講し、最後にはもっと審判をしてみたいと発言があったことは、地元、島根県の審判育成活動に関わるものにとって大変うれしかったです。

女子部会代表 森近 和代さん

今回、松江商業女子サッカー部の皆さんを対象に審判トレセンを行いました。

午前中は座学でサッカー競技規則に親んでもらうため、米村女子部長の工夫を凝らした競技規則の説明により、普段当たり前に見て感じているフィールドの大きさやオフサイド、反則などより詳しく理解してもらいました。

午後からは体育館で笛の吹き方やオフサイドについて学んでもらいました。試合で主審がどんな笛の吹き方をしているか、場面によって使い分けをしていることを感じてもらいながら楽しく吹いてもらいました。次にオフサイドの判定について、何シーンか場面を設定しチャレンジしてもらいました。自分の判定を実際にすぐ映像で確認してもらったので、皆さん画面に釘付けでON・OFFの判断に歓声が上がっていました。吉野さん、映像ありがとうございました！

最後に参加者の皆さんから審判の理解やサッカーの奥深さを知ったと感想を聞かせてもらい、このトレセンがきっかけで、少しでも審判への理解や興味が湧いてくれたのなら嬉しいです。皆さんの笑顔がとても印象的でした。またどこかで会えることを楽しみにしています！

